

Q	A
2019年度（令和元年度）で推計調査を実施した際に、今回の状態を見込めなかった理由を伺いたい。	令和元年度の推計から令和3年度に増築を行いました が、令和4年度から推計値と実績値で教室数に差が 出てきたことから、改めて民間のコンサルタントに委 託をし、再度推計を行ったところ、児童数のピーク以 降の減少率が緩やかであることと、特別支援教室が予 想以上に増えていることがあげられます。
1月中旬のアンケート結果を加味して今回の案が導か れたとのことだが、どのように導かれたのか。	1月中旬のアンケート結果や直接教育委員会に、対象 地区に松並青葉一丁目とレーベンを外すのではなく 全地区で実施したほうが良い、という御意見が多数寄 せられました。松並青葉全地区であると対象人数が多 く、全員を郷州小や御所ヶ丘小に移動してもらうこと はできないため、選択制としました。
変更先の小学校として、御所ヶ丘小と郷州小の2校以 外を検討しなかったのか。	守谷小学校はなぜ外されたかという意見も多かった のですが、守谷小学校は現在、徐々に児童数が減り始 めておりますが、通学区域に守谷駅周辺を含んでお り、今後のマンション等の建設により、児童数が増え た場合に備え、今回の変更先学校からは外しました。
御所ヶ丘小学校と郷州小学校について、希望して選ぶ のか、それとも振り分けられて学校が決められるもの なのか。 一方の学校に人数が偏ってしまった場合どのような 対応となるのか。	完全に選択制になります。 偏ってしまった場合は、まずは受入れ学校の人数につ いて学校と調整し、受入れ可能人数を再度確認しま す。 また、第1希望、第2希望を聞き取らせてもらい、第 2希望に変更してもらう可能性含めて検討してまいり ます。
御所ヶ丘小学校と郷州小学校の保有教室数と余裕教 室数について、移ることが見込まれない想定になっ ているが、実際にもの凄い人数が移ることになった場合 受入れ学校は耐えられるのか。	現在の保有教室は、御所ヶ丘小学校が20教室、郷州 小学校が24教室です。現在使用している教室数は、 御所ヶ丘小学校が14教室、郷州小学校が15教室とい うことでかなり余裕教室があります。 仮に移動可能児童数が全員移動した場合でも、受入れ 可能という推計になっています。 ただし、現在1～6年生が1、2クラスの学校で1年 生だけ5クラスとか多くなった場合学校運営上難しい ことが予想されるため、現在のクラス数にプラス1ク ラスもしくは2クラスを想定しています。
黒内小学校は増築に対応するためプール施設をつぶ したとのことだが、御所ヶ丘小学校と郷州小学校にプ ール施設はあるのか。	黒内小に限らず全校自校プールは利用できない状況 です。常総運動公園のプールや市内の民間プール施設 を利用して水泳授業を実施しています。
スクールバスについて、令和十数年度になるとかなり の児童数が移動する想定になっているが、1便で乗り	1便＝1台というわけではなく、人数に応じた台数を 運行する予定です。

切れることができるのか。	
児童クラブについて余裕スペースを利用することだが、どれくらいの余裕スペースを保有しているのか。	原則令和7年度の1年生（希望があれば2年生以上）も変更可能であるという制度のため、一気に余裕スペースが埋まることは想定していません。 さらに郷州小ではコミュニティスペースを保有しているため、そちらのスペースも使用することを検討しています。 また、児童クラブについては、担当課と協議を行っております。
中学校の推移について、松並青葉の子どもたちが守谷中学校に進学する場合、中学校の受入れは可能なのか。	守谷中学校も増築が済んでいる状況で、実際に使用しているのは15教室で、25教室保有しております。 現時点での推計では、松並青葉地区の子どもたちが守谷中学校に進学した場合も受け入れ可能です。 ただし、推計については、これから毎年実施するとともに、黒内小学校区の皆様に進学先の中学校について意向調査を実施し、人数把握に努めたいと考えています。万が一教室数が足りないとなれば、現在使用していないプール施設の場所に校舎を増築したいと考えています。
3日間の説明会の結果を、上程案をもって審議会に臨むとのことだが、何をもって上程案とするのか。ここで聞いた話を一度市側で協議したものを再度説明いただけるのか、ゴールについて教えていただきたい。	本日お示しした案は、ほぼ決定ということで、方針はこの案でいきたいと考えています。今回いただいた御意見は制度設計として対応できる部分は対応させていただきます、答申案に取り込ませていきたいと考えています。答申案について再度のご説明は予定しておりません。
P34 スクールバス導入による学校選択について、御所ヶ丘小と郷州小の学級数は、支援学級を含む数字か。	特別支援学級を含む数値です。
令和5年度の5月1日の児童数の一覧では、既に御所ヶ丘小289名14クラス、特別支援学級が2、郷州小282名で14クラス、特別支援学級が3、令和7年度の段階で、人数が増えるけれども、特別支援学級は増えないという計算で数値を出されているのか。	この数値の求め方は、普通学級に通われる児童の人数と特別支援学級に通われる児童の人数の割合を出したところ、令和3年度以降その割合傾向が大きく変わった。その割合を乗じた形で出しております。特別支援学級は、8人で1学級になるため、その人数で教室数を割り返した数値となります。
変更後も、人数は増えるが特別支援学級は増えないという想定でいるのか。 現在郷州小に通われている児童数が290名から令和7年度に30名ほど児童数が増え、321名になり、新1年生が31名増えても、学級数は増えないということか。	普通教室は35人で1クラスになるため、人数が増えたとしても、学級数が増えるとは限りません。 この人数は6年生が抜けた人数になるので、31人増えたとしても、6年生が抜けるので、新1年生については、3クラスを想定しています。
郷州小学校は現在282名で普通級が11クラス、特別支援学級が3クラスの14クラスとなっています。令和7年度には、児童数321名で学級数14クラスとなっているが、クラスの内訳はどのようなになっているの	令和7年度は、普通学級が12、特別支援学級2の14学級となっております。

か。	
現在、黒内小で9学級ある特別支援学級が今後も増えていくことが想定される中で、郷州小学校は支援級が減っていくという推計をされているのか。	減っているというよりも、令和7年度の編入される人数を足し、特別支援の人数と普通教室の人数を割り返した場合となります。これで減らしていくということではなく、毎年度、新1年生だけではなくて、例えば在学生でも途中で教室が変わるということもございますので、きちんと対応しながら進めていきたいと思っております。
特別支援学級を希望する子供がスクールバスでの学校変更を希望した場合、平等に抽選されるということでしょうか。	そのとおりです。
学校の新設の要望が多く、アンケート結果の回答として、「候補地は探しづらい」、「候補地が少ない」という回答となっているが、「土地がない」というわけではないという認識でよろしいか。	もし、建設する場合、守谷駅より松並青葉地区の東側となるのですが、松並青葉地区全体を通わせる場合、25教室が必要となってきます。その敷地を確保する場合、15,000㎡ほどの敷地面積が必要で、その候補地の下調べはしておりますが、それが確実に入手できるかどうかというところもありますし、建設にかかる費用や、今後の児童数推計等も踏まえて市として検討していきたいと思えます。
「新設には5,6年かかる」という回答があるが、今実際に新築できたとして、義務教育学校として建設したら、中学校の学生さんを入れるというような検討もできると思うので、学校の統廃合も含めてご検討いただきたい。	現在は過大規模校である黒内小学校区について集中して審議しておりますが、これが終わりましたら、次は市内全域の学校の状況や通学区域等の審議に入ってまいりますので、その中で検討させていただきたいと思っております。
今後、統廃合も含めて検討されることについて、松並青葉地区に関しては、統廃合の対象にはならず、このような選択制が継続されるという認識でよろしいでしょうか。	今後の通学区域審議会でご検討いただく審議の内容は、具体的な学校の統廃合の話までは及ばないと考えています。例えば、複式の学校が発生したら、統合を検討する、という基準を定める形になると考えています。 かつ、松並青葉に関しましては、児童数が伸びている状況ですので、ここで他の学校と統合というのは、議論に上がってこないのではないかと考えています。
スクールの対象地区について、10～20分で確実に行けるとあるが、実際にバスを運行させて計測したものなのか。	バスで運行したことはございません。 今後バス業者が決定しましたら、朝夕の渋滞の時間帯にどのルートが一番いいのかを検証していきたいと考えております。
バスの乗降時間は考慮しているのか。 モコバスの停留所を検討しているようだが、児童が15名程度乗り降りした場合、すごく混むことになる。 バスやトラックが通る道路だと思うので、その辺も考慮した設計をしていただきたい。	人数に応じて、乗降に係る時間は違うと思いますので、人数が確定してから、どのくらいになるのか、他自治体の事例も確認した上で、バスの乗降時間を設定していきたいと考えています。
御所ヶ丘中学校は現在3教室しか空き教室がないよう	御所ヶ丘中学校も推計を出していますが、毎年減少し

だが、実際にパンクはしないのか。	ている状況であります。現在の推計では問題ありません。
(意見) 通学区域審議会 5 回というのは少なく感じる。 子供の人生を 5 回の審議会で決めていて、さらに 1 月のアンケートで審議していた内容がひっくり返ってしまっている。 反対が 3 割で賛成が 7 割であればむしろ押し通してもよい案であったのではないかと個人的には思うため納得感がない。 住民が納得できるような情報発信をしていただきたい。 新設ではなくスクールバスに変更した際に浮いたお金について、子どもたちが得る利益だったと思うので、どのように子どもたちに納得できる利益をもたらしていただきたい。行政が得ただけで終わってはいけないと思う。 その点も含めた対応を検討していただきたい。	審議会としては 5 回だが、その他一部の委員さんに集まってもらったり、学校施設見学会を行ったりと、回数には出てこない活動を実施しています。 情報の発信については、今回皆様に十分にお伝えできなかったことについて、色々な方から御意見をいただいています。市 HP に掲載したから良いとか、広報に掲載したから良いということではなく、しっかり情報を発信していかなければならないと反省しております。 情報の出し方について考えていきたいと思います。
スクールバスを選択した場合、行事の際に保護者がどのように学校へ行くことになるのか。	臨時の駐車場確保とバスの運行を実施します。
スクールバス通学に伴う、子どもの運動不足解消の対策について。 前者は論点のすり替え。昼休みに遊べるというのは、当然享受すべき権利であり、それが失われているというのが、元々議論の出発点です。それが元に戻るといったら、通学で使う時間がマイナスになっているので、何も補っていないということになる。 予算の部分も含めた前例にとらわれない検討をお願いしたい。	現在は具体的な対策案はないですが、グラウンドで遊べる時間が限定されている黒内小学校に比べ、市内で一・二番目に大きなグラウンドを持つ御所ヶ丘小学校と郷州小学校では、休み時間の外遊び時間が増え、若干ではありますが運動の解消につながると考えています。 実際にスクールバスが導入されれば、運動不足解消対策について、学校と考えていきたいと考えています。
対象区域が松並青葉全体となったと聞いたが、アンケートの中では一丁目とレーベンが外れている。 そんな中、1 回目と 2 回目の説明会の出席者でレーベンと一丁目の人数が少なかったので、ちゃんと情報発信をしていかないと、自分は対象外だという認識のまま参加していない人がいるのだとしたら、その方々の意見が反映されないということになると非常に危険	松並青葉地区全戸に郵送させていただいたのですが、説明会の場に来ていただけなかったことを危惧しているため、町内会長さんと協議するなど、周知について検討したいと思っています。 4 月の説明会というのも、松並青葉地区全体への説明ということで想定しておりますので、そこは確実にきいていただけるように、なんらか策は講じていきたいと

かなと思うので、その点についてどうお考えなのか。	考えております。
P21 で、今後対象となる人数が、令和 7 年から 97 名、令和 8 年度で 189 名が対象となっている中、P23 で、御所ヶ丘小と郷州小への受入れ人数見込みが、令和 7 年度で 81 名、令和 8 年度で 73 人となっている。 P23 の令和 7, 8 年度の人数を足しても 189 名にはならないのは、変更希望者が必ずしも全員通うことはできないということになるのか。	対象人数が、松並青葉地区で増えていくので、受け入れ人数見込みは各年度の新 1 年生の想定される人数となっておりますので、そこを足し込んでいくと、毎年若干対象人数に比べて上振れていく感じです。 それぐらいの人数であれば、受け入れ先の学校、希望していただけるのであれば、可能な限り、人数の調整を行っていきたいと思っております。
一部の児童が黒内小から変更したとしても、一定数は黒内小学校に通わなければならない。その状況下で、歩道橋ができないという質疑応答について、県が担当でできないということだが県が担当でなぜできないのかを教えてください。例えばお金を出すことができないのか。守谷市でつくことはできないのか。ふるさと納税を充てること。新設校を作らないのであれば、そのお金が浮くので歩道橋設置が可能なのではと考える。 設置コストは分からないが、数年償却という形でできれば良いのかなと思うが、その辺はどうなのでしょう。	市の方で新築しない分、歩道橋設置に充てたらどうだという意見もありますが、建設したとしても、将来的に利用人口が減少することも想定されているため、必要性について、今後検討をしていきたいと思います。 以前に設置について検討した際に、県からはエレベーター付きの歩道橋として 4 億から 5 億という試算でありました。 子どもたちの命をお金で図るものではないと考えますが、お金をかけなくても解消できる別の方法について引き続き検討させていただければと思います。
黒内小に通う場合のプレハブについて、耐震は大丈夫か。	鉄筋コンクリート造の普通校舎と比べれば間違いなく強度は落ちるが、強度が強いより良いプレハブを業者と協議しながら設置したいと考えております。
人数が増えた場合、校庭等へのスムーズな避難は可能なのか。道が狭い等の対策はどうなっているのか。	令和 3 年度増築の際に、旧校舎前の花壇を撤去し、かつ、グラウンドへ降りる階段 2 か所が狭いので、広くしたり、緩やかにしたりする対策を行いました。 場合によっては、避難場所として隣接している森林公園等が活用できるかも含めて検討をしていきます。
統計について、多少の増減はあると思うが、今回の推計値はマックス値として考えられた値なのか。	現時点では上限値で考えています。ただし、上振れ下振れも考えられる数値であるため、毎年度推計値を取り続けることで、正しい数値を把握していきたいと考えております。
松並青葉で人を動かそうということになっているが、予想に反して移動者が少なかった場合、黒内小学校全体として、松並青葉地区以外の方の徒歩圏内の通学区域変更は検討しているのか。	松並青葉だけではなく他の徒歩圏の地域にも働きかけている状況であるため、松並青葉地区だけに絞ってやっているわけではないので、引き続き他地区の協力について働きかけています。
バスの添乗員について、教職員ではないとの質疑応答があったが、有事の際に対応ができるような方なのか。	他自治体でも確認しましたが、添乗員の要件を設けているところはありませんでした。 ただ、車内での体調不良等想定されますので、看護師は難しいとは思いますが、添乗員を決めた段階で、研修をすることで安全対策を徹底いたします。
P21 で、想定される対象人数とあるが、その年度の新	令和 7 年度の人数は、全体の人数の 5 割程度がきょう

1年生の何パーセントが対象と想定しているのか。	だいのいないお子さんと想定しています。
想定している人数がかなり少なかった場合（例えば二丁目が12人となっているがそれが2人であった場合）、バスの停留所を隣の丁目と統合することもあるのか。人数があまりにも少なかった場合、帰りが心配であるため質問しています。	登校時は駐車場に皆さんで一斉に乗ってもらうことを想定していますが、下校時は（学年別や児童クラブ利用有無などで）人数がばらけるため、丁目ごとのバス停を想定はしているのですが、バス停については、中間地点ですとか、柔軟に対応できると思うので、できれば1人2人で帰らないよう調整したいと考えています。
（意見） 5割との話があったが、中学校のことも考えると自転車通学ということで遠方になることであまり希望者はいないのではないかと思います。 スクールバスや自転車通学は少なからず負担を背負う形になると思うので、犠牲となる方とそれ以外という構図で町内が分断してしまうのかという心配をしているため、なにかメリットを考えていただけると良いのかなと思います。	（意見の為、回答無し）
令和元年度のタウンミーティングに参加した。 その際、増改築で対応しますと言った教育長本人が、今この場にいないことに不満がある。市の見通しの甘さでこのような状態になったということだが、守谷市の職員の中で黒内小の保護者や、通われる予定の保護者は何人いるのか把握をしているのか。 その世帯がまず黒内小以外の選択をするということが見通しの甘さの責任ではないかというくらい、松並青葉の住民に黒内小以外の学校を選択して欲しいということは重たいことだということを理解していただきたい。	行政の都合で皆様のご迷惑をかけて申し訳なく思っております。
学校が離れると親が送迎することがあると思う。ガソリンや送迎の時間等を浪費するため、モリン等を活用してメリットを与えてもらわないと動けない。 例えば、学童費は無料するだとか、ダンス教室やプログラミング講習等を受けられるようにして欲しい。	今すぐガソリン代を出しますとか、教室を開きますということはこの場ではお答えできないので、持ち帰って中身を精査して、提案としてお受けさせていただきます。
北園交差点の渋滞について前々から危惧しており、歩道の拡幅プロジェクトの一員である。 歩道橋の話が出た時も、もう一度話さないといけないなと思ったところです。 新守谷駅周辺の開発で道路の幅と自転車で通う子供がいるということをしっかり意識して開発していただきたい。 遮断機のない踏切を子どもたちが渡ることでないと万が一があってはならないと感じている。	御意見ありがとうございます。 そのように対応します。

スクールバスのバス停について、御所ヶ丘小学校も郷州小学校も乗り場は一緒になるのか。 同じであると、乗り間違え等も発生してしまうのではないか。 どのような対策を考えているのか。	バス停にも大人の配置が必要なのではないかという意見を多くいただいておりますので、バス停に通学補助員等を配置したいと考えております。 また、バス会社には相談していませんが、バスをラッピングして色分するなど、子どもが分かりやすい対策をいたします。
令和7年度から11年度にかけて、対策をしたとしても黒内小学校児童数が1000人を越えていて依然として多いが、先生方のご負担、児童への対応はどのように考えているのか。	プレハブ設置、北園交差点を回避するルートの検討と運動対策として中央黒内公園を占用し、黒内小学校で利用できるように調整したいと考えております。 その他、どのようなことができるかを学校側と検討してまいりたいと思います。
バス停までは保護者の付き添うという認識でよろしいか。	バス停までの登校班ができるまでは、可能であればバス停まで保護者付き添いで来ていただければ助かります。 事情により付き添いができない人もいると思うので、通学補助員等を配置することで確実に子どもたちがバスに乗れるように対応していきたいと思います。
(意見) 運動不足解消で森林公園を想定しているようだが、北園保育所の園児も利用していることから、本当に小学校で使えるのか不安。そこも確認していただければと思います。	確認いたします。
(意見) 今回の説明会のご案内が2月に入ってからだったため、レーベンや一丁目の方で自分が対象者だと思っている方は少ないと思う。私も、スクールバス案が選択制になったということを初めて知った。元々の案1～5を検討していると思っている人も多いと思うため、その辺の周知についてしっかり行っていただければと思います。	(意見の為、回答無し)
P39で、今後のスケジュールについて、3月4日アンケート締切で、3月7日の審議会とある。3業務日しかない中、アンケート結果をどのように反映されるのか。また、3月7日に答申で3月中旬に議決とあるが3月中旬とはいつ頃を予定しているのか。元々結果は決まっていて、私たち住民の意見を吸い上げる気がないように感じてしまう。	今日説明した内容は、ほぼ決定ということで、方針案としてはこの案でいきたいと考えています。大変申し訳ないのですが、今回いただいた御意見は制度設計として対応できる部分是对应させていただき、答申案に取り込ませていきたいと考えています。 ここまで急ぐ理由としましては、現在の推計が確実であれば、令和7年度から教室数不足が発生してしまうということで、確実に令和7年度から対策を実施しなければならぬため、令和5年度内に決定しないと令和6年度での周知やバス契約等が間に合いませんので、方針として撤回はできないということを御理解ください。

事後報告会ということですか？ 方針案が決まっているのであれば、アンケートを取る意味もないですね？	細かい部分として、バス停の場所等について、制度設計に色々な御意見を反映させることで、少しでも皆さんに御理解を得られるような案に決めていきたいというところで開催させていただいた事前の説明会、また、事前のアンケートです。
学校新設について要望がある中、市長はどのようにお考えなのか。 なぜ頑なに拒むかをお聞きしたい。 また、避難所としても不足する事態にはならないのか。	新設に対する皆様の意見は市長に伝えさせていただいています。 以前から、守谷駅東側に学校を含め子どもの居場所となる施設が少ないという話は出ているため、市長からは、関係部署で協議するよう指示が出ています。
守谷中学校の増設をプールの跡地で実施した場合、校庭が足りなくなるのではないかと懸念している。	現在もプール施設は残っております。そこを解体し増築をする為、校庭は今のままです。
市が、人口を減らそう減らそうという、発展をあきらめているような施策に感じる。 学校を新設して新しい人口を呼び込もうとする気力が感じられない。 市としてのゴールが見えない。 南守谷や駅前のマンションもあるが、人口を減らそうという考えを感じてしまう。 新設してどんどん人口を増やそうという気力が感じられない。	(意見の為、回答無し)
令和6年度で学校変更を予定している方から、令和6年度は放課後子ども教室の利用料は有料と言われたと聞いた。 令和7年度から利用する方と令和6年度から利用する方で対応が異なるのは違うと考える。	放課後子ども教室再開については、再開時期も決まっていなかったことだったので、担当部署と令和6年度についての対応は相談していませんでした。再開する際には料金についても協議いたします。 令和6年度学校変更者が必ず有料になるということではありません。
保護者が子どもより早く家をでる家庭もあると思うが、そのような家庭のお子さんがスクールバスに乗り遅れた際の対応はどのようにするのか教えていただきたい。	乗降時に確実に乗り忘れを発生させないために、バス停での点呼を徹底するなど基本的なところはしっかりやらせていただきます。 今後、具体的な対策を検討していきます。
新設校の要望は大きいと思うが、令和7年度はもちろん時限的なスクールバスの運用は必要だと思いますが、将来的に分離新設も検討していただくために署名活動はどの程度有効な手段となりますか。	有効ではないとは言えません。おそらく、その場合、請願や陳情という形（の提出）になると思います。 現在、教育委員会で持っているデータを説明させていただきます。 推計値として、令和6年度 628 名（17 教室）、令和11年度に 910 名（25 教室）となる推計。令和18年度になると 416 名となり、令和11年度の半分以上の児童数と、小規模校になっていき、その後は一つしか学級のない単学級になっていきます。そういった推計の中、40～50 億円の予算を割くことができるかがポイントになると思います。さらに、松並青葉周辺に開発

	できる用地があるかということも重要で、新設できれば黒内小学校の過大規模校化や北園交差点の混雑解消につながるため、とても良いとは思いますが、児童推計結果や開発用地の確保について判断が難しいところがあるため、新設は十分な協議が必要と考えます。
郷州小学校が小規模校でなくて、推計上で 400 名規模となる学校を小規模というのはなぜか。御所ヶ丘と郷州小学校は小規模校となるのか？ 先程、推計上、400 名で小規模校となるという説明をしたが、生徒数が郷州小学校より多いのにそのような説明は、都合の良い数字の解釈と思うがどうか。 現在、289 名で 14 クラスとなっている御所ヶ丘小学校、264 名で 14 クラスとなっている郷州小学校がある中、単純に児童数のみで 400 名で小規模校となるという説明はするべきではないと思うがどうか。	400 名で小規模校というのは、単純に普通教室定員の 35 名で割り返したときに、これ以降小規模校となってくるということです。 郷州小学校と御所ヶ丘小学校は小規模校と適正規模校の間となります。 実際の学級数は、学年ごとの人数や特別支援教室もありますので、それより少ない人数でも多くなって小規模校ではない場合もあります。あくまで推計ですので、400 を割り返したときに、それ以降小規模校となってくるということです。 ※事務局追記 国の基準によると、適正規模校の目安は学級数が 18 ～12 とされており、クラス替えが可能な状況等と定義されています。このため、令和 5 年 5 月時点で、郷州小学校は普通教室 11 のため小規模校、御所ヶ丘小学校は普通教室 12 のため、適正規模校となります。
非常に後ろ向きに検討しているように感じる。 松並青葉の住民がいなければこのような状況に陥らなかったということで、松並青葉地区の住民が移動すればよいという古くからの住民の意見もあると思う。 実際に松並青葉地区がスクールバスで移動した御所ヶ丘小と郷州小においても、周辺住民や児童の皆さんが完全にウェルカムで受け入れてくれるかという点に関しても疑問が残る。 少なくとも松並青葉地区が不利益を被っている以上、検討の上では前向きに検討を行っていただきたい。その上で難しければ明確に説明するべきだし、防災の観点からは少なくとも学校用地くらいの規模の施設がないと収容できないと思う。 松並青葉を開発しようとしているのは市だったのに、実際に人口が増えたら困りますというような押しつけは迷惑だと思う。	市長からも守谷駅の東側についても、子どもたちの遊び場として、児童館等の環境整備を協議しなさいという命令を受けていますので、関係部署と協議していきたいと考えています。
先週の図書館の質疑応答で保護者の方から、トイレの時間が短くて漏らしてしまったという話があり、早急	翌日に黒内小学校に確認したところ、そのような事実はありませんとのことでした。

に確認するということだったが結果どうでしたか。	
黒内小学校の情報が少なすぎるため、現状どのような不便があるのかを教えて欲しい。 保護者に選択を迫っている中で、情報が少なすぎるためきれいごとではなく情報を提供して欲しい。	休み時間や体育の時間でスペースが少なくて、子どもたちがのびのび活動できていない不便はあったと認識しています。
スクールバスのアプリの作成等で検討とかスクールバス増便を検討する等予定が多くみられるが、どういったことが制約となってこのような表現となっているのか。	私どもとしては、この案で行きたいと考えていますが、正式に決定されてはいないため、このような表現となっています。 予算も議決後の令和6年度になってから確保する形になります。
新設とアプリ等の安全対策とでは温度差が大きくあると思う。そのため、最大限予算確保に努力していただきたい。	予算の確保に努めます。
P34 スクールバス導入案の終了時期について、黒内小学校の児童数が800～900人になった時期に検討とあるが、仮に令和12年でスクールバス終了となったら打ち切りという形になるのか。	その時点でスクールバスを利用している児童については、卒業までスクールバスを運行する予定です。 現在の推計では令和23年度に終了を想定しています。 ただし、スクールバスの対策だけに頼るわけではなく、通学区域変更等も並行して実施していきたいと考えています。
スクールバス終了の際にきょうだいがいた場合は、どちらかのきょうだいが犠牲というか転校することになってしまうのか。	スクールバスを利用している児童が卒業するまでスクールバスを運行する予定です。
もらった意見に対して貴重なご意見ありがとうございました、という対応が見受けられるが、それはこれ以上回答がないものなのか、それともHPで回答を得られるものなのか。 今後決定する内容の連絡方法について、明確にしたい。	情報発信については、分かりやすい内容で全戸配布を検討しています。
市長からの指示内容に、東側の児童館の新設等が挙げられていたが、論点のすり替えで、何人規模の施設でどのような見通しなのか、市長はその程度の指示しかしていないのか。 市長の「新年のあいさつ」を紹介。この「新年のあいさつ」を今一度読んでいただいてから検討会を実施してほしい。 主観ですが、9割以上の人が子どものために松並青葉を選んで住んでいる。 令和25年になればこの施策は忘れられて、一部の人がだけが痛みを感じればいい、という風にしか聞こえない。 だから、みんな色々おっしゃりたいし、意見があるんです。	(意見の為、回答無し)

それを真摯に受け止めているようになっていないから問題なんです。 そう受け取っている方はこのようなことは書けない。 松並青葉がロールモデルのように市長はおっしゃっているが、実際はそうっていないという現状をきちんと受け止めてください。	
説明会 3 回目の参加です。 令和元年からの間違いとして、教育委員会だけで抱え込もうとしていることが問題だと思う。 3 回出ていても半分くらいが新設の意見である。 スクールバスの対策を進めると同時に、市の包括的な委員会や審議会を立ち上げるべきだと思う。 都市設計を大きく見直すということを実施していないといけない。 ネガティブな感情で松並青葉の判断となってしまう。 守谷のブランド力を下げてしまう要因になりかねない。 逆転の発想で魅力ある対策に見せることも一案 モコバスを増設して、通学にも活かせる部分もある。 より良い、ポジティブな方向性で施策をやっていただきたいと思います。	(意見の為、回答無し)
検討中案件が多いが、いつそこがはっきりするのか。	4 月の説明会では決定事項をお伝えします。
4 月の説明会は 1 日だけの実施か。	現在 4 月 13, 14 日の 2 日間で実施することを検討しています。
(意見) 今回の説明会の情報も最近知ったこともあり、今後はみんなが分かるように発信していただきたい。	(意見の為、回答無し)